

平成26年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	越境の動態的地域研究—空間とカテゴリーの越境の地域間比較をめざして—
------	------------------------------------

研究代表者

氏名	吉野 晃	所属	地域研究分野	職名	教授
----	------	----	--------	----	----

研究分担者

氏名	菅 美弥	所属	地域研究分野	職名	准教授
	水津嘉克		地域研究分野		准教授
	出口雅敏		地域研究分野		准教授
	橋村 修		地域研究分野		准教授

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

本プロジェクトの目的は、越境に着目して、空間・社会的カテゴリー間を移動する主体の動きをとらえた動態的地域研究を構築することであった。ここでいう越境は、国境などの空間の境界だけではなく、民族やジェンダー等の社会的カテゴリーの境界を越える現象をも意味し、移動する主体も人だけでなくモノや情報を含んでいる。越境によって境界は意識され構築・再構築され、その境界の再構築がさらなる越境をもたらす。こうした境界と越境との弁証法的な関係により、地域・社会の構造が生成している。人・モノ・情報も越境により変容し、その変容が地域・社会の変化をもたらす。このように、越境という視座を導入することによって、様々な変化をよりダイナミックに且つ構造的に把握することが可能となり、地域研究をより動的に組み立て直すことにもつながって行く。このような試みを通じて動態的な地域研究を構築することを目指した。

研究会のメンバーは、歴史学、社会学、文化人類学、民俗学の諸分野を専門としている。それぞれの視点からこの課題に取り組んで、計3回の研究会で発表と討論を重ねた。

菅美弥は、19世紀後半から20世紀初頭のアメリカにおける「人種」間の境界を超えた結婚について、日本人の異「人種」間婚姻の事例を掘り起こし、これによって、日本人の異「人種」間婚姻の傾向と、当時のセンサスの「人種」記述の原則を明らかにした。水津嘉克は、自己と他者の境界を越えた働きかけである支援について、特に親しい者の死に直面した人々への支援をとらえる「二人称の死≒悲嘆→グリーンワーク」という枠組みを批判的に検討し、そこに潜む近代家族観の作用を指摘した。出口雅敏は、19世紀低地ラングドック地方における、低地と山地の境界を越えて出稼ぎに来ていた山地住民(ガヴァシュ)に対する村の若者の行動を訴訟調書から抽出し、民俗儀礼による境界の再確認機能や、ガヴァシュ・村の若者・村の指導者層の三者の間の関係を分析した。橋村修は、越境の極限状態とも言える漂流における人と魚(特にシイラ)に関する記述を数多の記録から抽出し、漂流状態における人と魚の両義的な関係について指摘している。吉野晃は、タイ北部のミエン社会における新しい宗教現象について報告し、従来の歌と儀礼のカテゴリーを越境して儀礼の領域に歌が浸潤し、新しい儀礼を創り上げている点を明らかにした。

いずれの発表も越境に関して多方面からのアプローチがなされ、動態的地域研究に向けて議論を重ねていった。グローバリゼーションに限らず、何らかの変化や人の作用・動きがあるところには空間あるいはカテゴリーの境界を揺るがし、それを越える現象が生じており、越境が日常的に行われている。これは、我々の従来の重点研究で共通認識になっている、移動が人類の常態であるということも深く結びついていた。今後はこうした視点を踏まえ、動態的な地域研究をより深く展開して行きたい。

最終的にこれらの研究成果を冊子体の報告書として発行した。

## 研究成果発表方法

[発表論文名(口頭発表を含む)、氏名、学会誌等名(投稿中・投稿予定・執筆中)を記入する。]

※本経費を用いて、報告書(冊子等)を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

吉野晃(編)2015『越境の動態的地域研究—空間とカテゴリーの越境の地域間比較をめざして—』(平成26年度東京学芸大学重点研究費研究成果報告書)研究代表者:吉野晃 人文科学講座地域研究分野、44頁(執筆者:菅美弥、水津嘉克、出口雅敏、橋村修、吉野晃)。

橋村修 2014「地域の和食 キビナゴ 鹿児島海の幸」*Biostory* 22, pp.75-77.

橋村修 2015「江戸末期薩摩藩領内の海産物からみた『地魚』利用」『国際常民文化研究機構年報』5, pp.145-154.

吉野晃 2014「固定的祭祀施設・女性シャマン・文化復興運動—タイ北部、ユーミエン(ヤオ)社会における新たな宗教現象に関する中間報告2」(学会発表)日本文化人類学会第48回研究大会、要旨集 p.74, 2015年5月17日、幕張メッセ国際会議場.

吉野晃 2014「タイ北部、ユーミエン(ヤオ)の儀礼における女性と歌謡」神奈川大学国際常民文化研究機構(編)『アジア祭祀芸能の比較研究』(国際常民文化研究叢書第7巻)、pp.141-155, 神奈川大学国際常民文化研究機構.